

TWD200/TFN00010CE施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



警告



禁止

◆製品の分解・改造はしないでください。

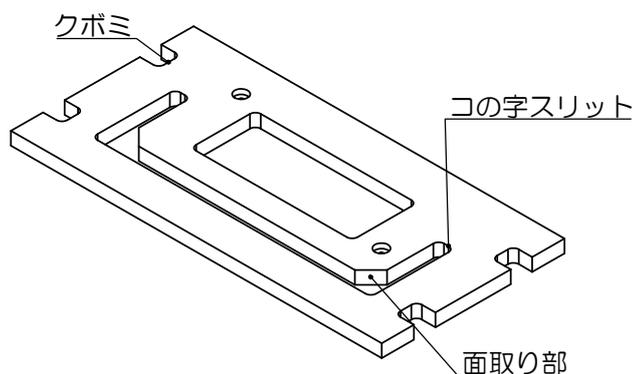
◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。
⇒製品が破損する可能性があります。

◆適合フロアコンセント

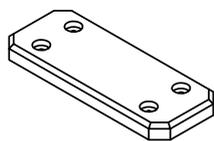
CERシリーズ

◆部品構成と名称

TWD200



CER用テンプレート



CER用コアプレート

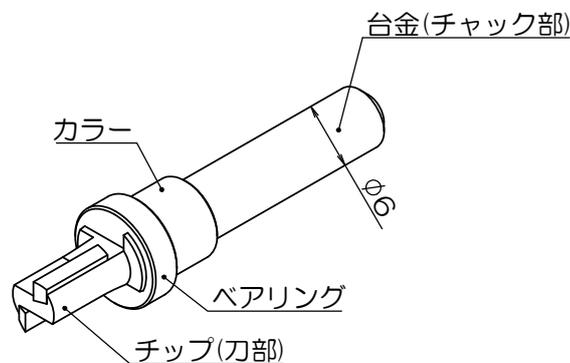


呼び3.5丸木ネジ(10個)



M4平座金(10個)

TFN00010CE ※注1



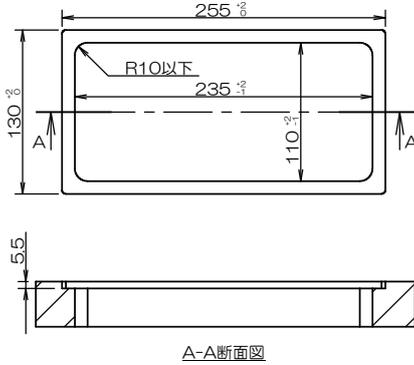
CEAシャクリ用ビット

※注1.ご使用になれる木の材質や堅さによっては、シャクリ加工が出来ない可能性があります。無理にご使用を続けると、刃が折れる等の破損の恐れがあります。

施工方法

※注：本施工手順書は、一例でジグソーを使用した場合の施工方法を記載しております。
 工程⑥シャクリ面加工完了後は、お持ちの開口工具等にて開口してください。

開口寸法とシャクリ面加工について

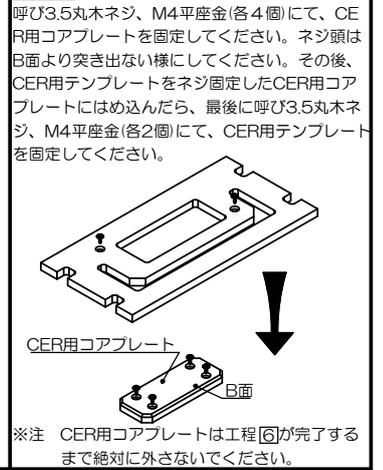


- 指定開口寸法は左記寸法となっております。
- 開口後にCERシリーズを設置する際は、CERシリーズの施工手順書を、御参照ください。
- 工程①～⑥は、シャクリ面加工の施工方法を記載しております。各工程の説明に沿ってシャクリ面加工をしてください。
- 加工後にCERプレートが取付難い場合は、シャクリ面加工箇所をヤスリ掛けし、調整してください。

1 突き出し量の調整

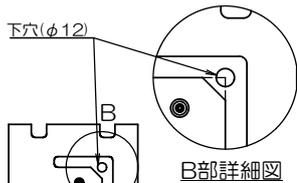


2 コアプレートの固定



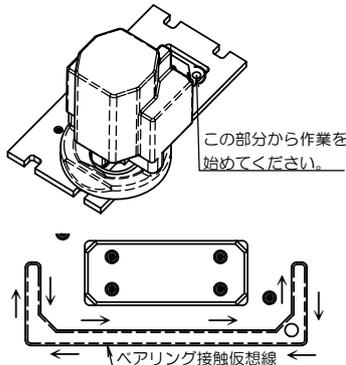
3 下穴加工

木工ドリルにて、下記破線で記した仮想線の交点付近にφ12の下穴を開けます。



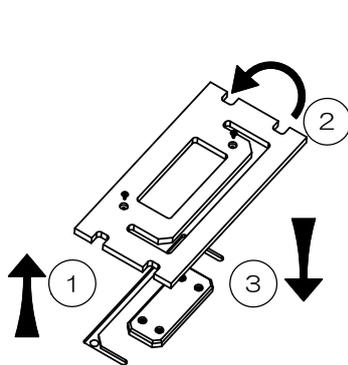
4 シャクリ面加工

CEAシャクリ用ビットを装着したトリマにて、床面にシャクリ面加工を行います。ビットを工程③で加工した下穴に挿入し、下図仮想線を参考にベアリングを軽くあてがいがながら、時計回りにゆっくりトリマを動かしてください。
 ※作業時は、トリマ及びビットの取扱説明書の注意事項を厳守してください。



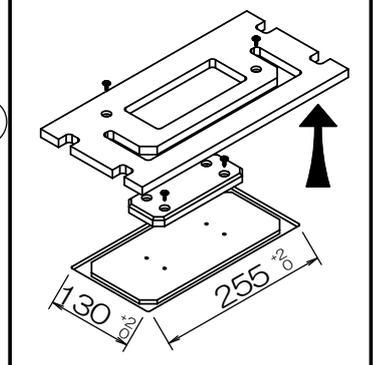
5 反対側のシャクリ面加工

ネジ固定したCER用テンプレートをCER用コアプレートから外します。その際にCER用コアプレートは絶対に外さない様、ご注意ください。180度回転させ、再びCER用コアプレートにはめ込み、ネジ固定します。CEAシャクリ用ビットを装着したトリマにて、工程④シャクリ面加工と同様、床面にシャクリ面加工を行います。



6 シャクリ面加工完了

トリマ作業終了後CER用テンプレートとCER用コアプレートを床面から外します。シャクリ面寸法、シャクリ面のイメージは下図を参照してください。

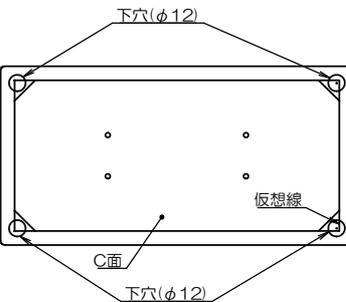


235×110床面開口について

- 工程⑦⑧⑨は、一例としてジグソーを使用した場合の施工方法を記載しております。
- ジグソー以外の方法で開口を行う場合は、上記開口寸法になるように開口してください。

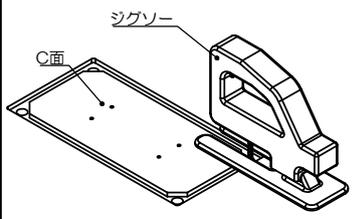
7 ジグソーの下穴追加工

木工ドリルにて、下記破線で記した仮想線の交点付近にφ12の下穴を計4箇所開けます。



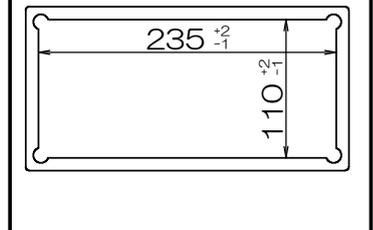
8 ジグソーにて開口

ジグソーにて、床面の開口を行います。ジグソーの刃は、工程⑦もしくは工程⑦で開口した下穴に挿入してから開口作業を始めてください。また、ジグソーにて開口する際は、仮想線に沿うようにC面を落としてください。



9 床材加工完了

ジグソーにて、4箇所の下穴間を開口すると床材加工の完了となります。開口寸法、開口のイメージは下図を参照してください。



■ お問い合わせ先
株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361